

1. 主題設定の理由

《生徒の実態》

○理想を語ることはできても、自分事として実際の場面での問題をイメージしながら物事を考えたり他者からの学びを自分の行動に生かそうとしたりすることに課題がある。
(アンケートより)

《今日的教育課題》

○「一人一人が他者との関わりの中で『幸せ』や『豊かさ』を追求できる社会であるべき」
(「Society5.0に向けた人材育成～社会が変わる、学びが変わる～」文部科学2018.6.5)

2. 道徳科で育成を目指す資質・能力(道徳性)

《道徳科で育成する「人間の強み」》

→人としてよりよく生きるために考え、判断し、行動に移そうと努力する
→道徳的な問題について自己を見つめ、他者と対話することを通して様々な考えを受け入れ、あるべき姿を探究する

思考力等	協調性等	主体性等
道徳的諸価値が大切なことなどを理解し、様々な状況下において人間としてどのように対処することが望まれるか判断する力＝道徳的な判断力	自己を見つめ、他者と協働し、物事を広い視野から多面的・多角的に考える力	自己の生き方についての考えを深め、人としてよりよく生きようとする探究する力＝道徳的な心情、実践意欲と態度

3. 研究の視点

(1) 道徳科の見方・考え方を働かせる「真正の学びの場」の設定

本校道徳科における【道徳的な見方・考え方】

- 道徳的諸価値について考える (22の内容項目)
- 自己を見つめる
- 物事を広い視野から多面的・多角的に考える
- 人間としての生き方についての考えを深める

※一単位時間だけでなく、指導過程全体を通して道徳的な見方・考え方を働かせる指導を位置付ける。

道徳的な見方・考え方を働かせるための指導過程

①年間計画に位置付けた小単元型ユニット

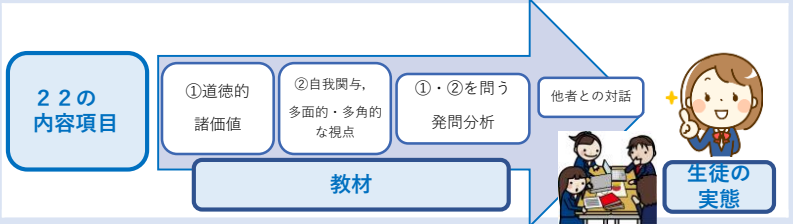
- ◇年間の行事との連携を図りながら年間計画を立てる
- ◇年間の大きな行事を活用し道徳科の学年重点項目における学びを深めるといねらいでユニットを位置付ける

【第1学年小単元型ユニット例】

ユニット名	各教科・領域、行事と道徳教育との関連	重点指導内容
ユニット1 仲間との出会いを大切に	HS(生活トレーニングセンター)	C(11)公正、公平、社会正義 B(9)相互理解、寛容
ユニット2 みんなで目標達成!	特別活動(文化祭)	B(6)思いやり、感謝 C(15)よりよい学校生活、集団生活の充実
ユニット3 先輩になる	附属小学校交流	A(3)向上心、個性の伸長、(4)希望と勇氣克己と強い意志、(22)よりよく生きる喜び

②道徳的価値理解を基に考えを深める授業

- ◇全員が学習過程の中で道徳的諸価値の理解に向けて考え、さらに自分事として考えを深めるための効果的な指導過程を吟味する



(2) 主体的・対話的で深い学び等による「学びの自覚化」

一単位時間、ユニットにおける学びの自覚化を促す振り返り

- ◇自己の思考の深まり、他者の考えから生まれた気づき、学んだことをもとにした道徳的実践意欲が表出する振り返り
- ◇ユニットにおける学習過程や思考過程が一目でわかるOPPシートの工夫

《ユニットのOPPシート》

- ①ユニットを通した問い
- ②一単位時間における「心に残った仲間の考え」「大事にしたいこと」
- ③ユニットを通した学びの振り返り

(3) 道徳科における「情報・情報技術」の活用

学年に応じた思考ツールの活用

- ◇1学年：教師による提示
- ◇2学年：生徒による選択
- ◇3学年：自由な活用
- ◇一単位時間の中で心に残った仲間の考えを整理し、自己の考えを広げるためのメモの工夫